

## I 総括的概要

アベノミクスの成果により、我が国経済は総じて緩やかに改善し、もはやデフレではない状況に達したと言えます。政府・日銀には、デフレという危機的な経済状況への対処とは異なる新しいアベノミクスに向けて、市場との対話をこれまで以上に進めつつ、潜在成長率を高める機動的な金融政策を実施し、現在の潮流をより強固で確実なものへとなるような成長戦略が強く望まれます。

一方、地域経済に於いては、地方創生に向けて明るい兆しが多くありました。特に、「新名神高速道路」の供用開始はこれからの宝塚にとって多くの可能性をもたらすものと期待が高まっています。地域内に「中国自動車道」とのダブルルート確保は、観光集客はもとより渋滞の緩和による物流等の向上など経済活動に良い影響が出るものと確信しています。また、宝塚市と協働して推進した宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」での選定品や異業種交流を中心に取り組んでいた多くの活動の成果として、「宝塚北SA」に特産品のコーナーが設置され好評を得ていることは喜ばしいかぎりです。

今年度からは、小規模事業者の経営力の向上に取り組む経営発達支援事業を推進し、「ワンコインdeスタンプラリー2017<sup>+</sup>」では多くの会員事業所が参加、新商品展開や販路の拡大により、地域活力を生む原動力として会議所会員が生き活きと躍動することとなりました。また、小規模事業者持続化補助金の活用積極的に取り組み申請件数が増加、経営計画の作成や販路開拓の実施の際、商工会議所経営指導員を中心に専門家の指導・助言を受ける等、事業意欲を高めることができました。

会員が力を合わせ、時間と労力を出し合った結果が「成果」として実を結んだ一年でした。また、会員数についても微増ではありますが会勢を堅持することができました。

商工会議所は会員の結束と互助互惠の精神で多くの困難を乗り越えてきた実績があります。平成29年度は「たからづか経済活性化プラン」の最終年であり結果をしっかりと評価し、今後の活動に反映する所存です。今後より一層皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

個別の事業については、以下のとおり報告いたします。

## <重点事業1> ワンコインdeスタンプラリー2017<sup>+</sup>

8回目を迎えた当事業は、昨年とほぼ同数の事業所が288件のワンコイン商品・サービスを提供して実施しました。

今年度は特に、準備の段階から、商材の選択・陳列や新メニューの開発等に対する専門家派遣を実施して、事業全体の充実を図りました。



## <重点事業2> 異業種交流活性化支援事業

### 1. 「木接太夫」のブランド化と宝塚山本地区活性化プラン



**KITSUGI  
DAYU**  
宝塚山本

宝塚市山本総合園芸組合のメンバーが、宝塚市の特別名誉市民に認定された「木接太夫」をブランド化するため、ロゴマークを制作し、商標出願しました。

併せて、お土産物の開発を行うため「木接太夫」ブランド商品の試作並びに試験販売を行いました。

### 2. 宝塚西谷産エディブルフラワーをつかった新商品開発

宝塚西谷産ダリアで盛り上げ隊のメンバーが、宝塚西谷産のダリアを使った化粧品、洋菓子などの商品開発を行いながら、並行して「ダリアジェンヌ」「ダリアコーヒー」の商標登録を行いました。

「ダリアジェンヌ」ブランド商品として化粧品や手づくり石鹸などが、新たに設置された宝塚北サービスエリアなどで販売されています。



### ＜重点事業3＞ 今年度末供用開始予定の新名神高速道路に係るSA・SIの活用

兵庫県の異業種交流活性化支援事業補助金を活用し西谷地域の事業者らが中心になって開発を行った「宝塚 花の里・西谷」ブランドの6グループの商品の宝塚北サービスエリアでの取り扱いが始まりました。

また、西谷地域を紹介するマップ、ホームページの制作も支援し、スマートインターチェンジから西谷地域に足を運んでいただくための情報発信にも協力しました。



### ＜重点事業4＞ 会員増強

今年度も、様々な場面で会員増強を推進しました。

新入会員の加入動機は多い順に①会員からの紹介、②経営相談、③ワンコイン de スタンプラリーとなっており、経営者相互の人脈による紹介が会員増強に最も効果が高いと考えられます。

今後とも、紹介、各種事業展開を中心に会員増強を図ります。

### ＜重点事業5＞ 小規模事業者・中小企業の経営基盤の確立

認定支援機関としての機能を充実し、経済社会構造の変革に備えた経営革新や、持続的な経営発達を支援しました。

また、特に小規模企業対策として平成28年度末に策定、国の認定を得た「経営発達支援計画」を推進しました。

### ＜重点事業6＞ 創業・起業支援（地域ビジネス創出支援事業等）

市内で起業を考えている人を対象に、創業プレセミナー（5月・全2回）、経営・財務・人材育成・販路開拓を含むカリキュラムの創業セミナー（7月・全4回）を開催しました。

9月にはビジネスプランコンテストを開催し、事業計画書の書類選考後、プレゼンテーション審査を実施して優秀賞1名を表彰しました。

また、中小企業庁主催の「第4回全国創業スクール選手権」に2件のビジネスプランを推薦したところ、デザイナーサカナヤ PESCE D' ORO(ペッシェドーロ)代表 飯田英二 氏の「タカラヅカのニュースタイル、＜次世代型＞デザイナーズ・サカナヤ」が経済産業大臣賞（1位）を受賞しました。



## ＜重点事業7＞ 相談指導体制の充実

今年度も小規模事業者持続化補助金やものづくり・商業・サービス新展開支援補助金等国の補助金申請に係る支援を実施、経営革新の相談業務他に取り組みました。

### 1. 窓口相談の充実（延べ335事業所）

- ア 経営指導員による小規模事業者の経営相談並びに支援  
（金融、税務、経営、労務、経理、記帳指導、消費税対策 等）
- イ 地域プラットフォーム関係各機関との連携  
（専門相談員の派遣・企業診断・経営指導の斡旋）
- ウ 兵庫県よろず支援拠点との連携  
（総合的・先進的アドバイス、チーム支援、ワンストップサービス）

### 2. 巡回相談の充実（延べ266事業所）

- ア 経営指導員による担当地区の企業及び団体への経営支援
- イ 巡回記帳継続指導

## ＜重点事業8＞雇用対策事業の推進

兵庫県商工会議所連合会の労働環境対策事業補助金を活用し、市内事業所が抱えている人材育成の課題に対し、会社・社会の未来を創る若手人材育成事業「トレジャーボックス」を全6回実施。「ロボット（AI）に負けない！クリエイティブな愛情ある人財の育成」をテーマに、新入社員・若手社員等の教育を行い、企業の発展に貢献しました。

